

地域精神医療誌・フレンドシップ
企画編集：NOVA出版

ハピネス 城西



フレンドシップインタビュー

ある人に降りかかった障害を
地域みんなで共有するという発想

吉川武彦

VOL. **1** 2004

「山手さんゆうびん」

ロマン(理念)の見直し

理事長・院長 井上和俊



城西病院の理念は、平成10年に「ほど良い医療の提供と、患者さんへの最大の敬意」として成文化されました。理事長として自分が作り、結構悦に入っていました。基本方針の「安全と信頼」の方はとってつけたような感じで今ひとつ…。というところでした。平成16年4月頃から法人全体の理念として見直しを始めようと思いたちました。まず自分自身、今まで生きてきた生きざまを振り返り、またこれからの生きざまとしてどうありたいか、そして経営トップとして法人をどうしたいのかを真剣に考えました。自己と法人が一体化した、そこに全人生、全財産、全エネルギーをぶち込める「ロマン」を自分自身の言葉で書いてみました。

平成16年8月より院長を兼任することになり、ほぼ出来上がった「ロマン」を中心として、現状分析、政策・課題、中長期計画を加え、A3用紙1枚にまとめた今後の経営計画書を職員に示し、院長就任の挨拶としました。従来から実施している診療連絡会や医局会、運営委員会、理事会等の場だけでなく、リーダー研修、各部署との懇談会、全体集会などを新たに開催し、あらゆる機会を作って職員全体に「ロマン」を語り、経営計画書を説明し、意見も聞きました。そうする中で、多少の修正を加え出来上がったものが、以下の「ロマン(理念)」と「基本方針」です。以前のものの主な違いは、スタッフ側と患者側の境界線を無くし、むしろ病める人は崇められるべきであり、心の病は必ず治ることを信じているところです。

医療法人睦み会の最も大切にすること

「ロマン(理念)」

心と身体を癒し続け
人生をより豊かなものとし
今を共に語り合い
支えあって生きる

「基本方針」

- ① ほど良い医療と福祉を提供し、病める人をことさらに大切に
して生きる。
- ② 心の病は誰でもなりうる病気であることを忘れない。
- ③ 心の病は必ず治ることを信じ、スタッフ全員で取り組む。
- ④ 同じロマンを持つスタッフと
一丸となって共に高め合う。
- ⑤ お互い支えあう共生社会を
作り上げる。

ハピネス城西 ～あなたが主役～

～城西病院 最近の行事～



お散歩クラブ

心と身体 の健康教室
城西病院では患者様やご家族、そして地域の皆様に様々な情報を提供することを目的として、月2回「心と身体 の健康教室」を開催しています。具体的な内容は、健康や病気の予防について、医療・保健・福祉の情報提供や相談、「身体」をほぐし「心」を癒すための催しなどです。平成15年11月より始まったこの健康教室も、前回10月23日をもって第23回を迎えました。



村音楽とマジック



運動会

当日は山崎昭信&TAKA、COM・BANDを招き、「軽音楽とマジック」という内容で開催しました。ムードミュージックやジャズ、唱歌など懐かしの名曲を中心とした演奏や、マジックショー、阿波踊りも披露され、会場からは盛大な拍手が起こっていました。会場を後にする参加者からは、「よかったわ」「楽しかった」「もっとマジック観たかったなあ」などという声も聞かれました。

「心と身体 の健康教室」では、今後も色々な情報を提供していきたいと考えています。皆様にとって健康について考える良い機会になるように、また城西病院が皆様にとってより身近なものになるようがんばります。

まだ参加されたことのない皆様も、次回はぜひ、ご参加ください。

●次回公開講座のお知らせ

城西病院ではこれまで

「うつ病」や

「アルコール依存」

などをテーマに、院内学会（公開講座）を開催してまいりましたが、来春は地域（ふれあい健康館）での開催を予定しています。テーマは「**ストレス**」です。

誰もが不安を感じていると言われている現在、「心」の問題が大きくなりあげられています。子供も大人も、日々ストレスにさらされていると言っても過言ではありません。最近の大きな問題として、皆様と一緒に考えてみたいと思います。

開催日時については、後日お知らせいたします。皆様のご参加をお待ちしています。



外来診療担当医		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	再受患者	小谷雄二	勝瀬烈	井上和俊	宮内公平	生田健一	松原正
	新患	小谷泰教	松原正	生田健一	勝瀬烈	井上和俊	勝瀬烈
午後	再受患者	小谷雄二	勝瀬烈	生田健一	宮内公平	井上和俊	
	新患	小谷雄二	勝瀬烈	生田健一	宮内公平	井上和俊	